

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 3年4月 1日

至：令和 4年3月31日

国立大学法人静岡大学

令和3年度決算報告書

国立大学法人静岡大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	9,195	9,199	3	(注1)
施設整備費補助金	590	634	43	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	649	623	△ 25	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	38	△ 1	(注4)
自己収入	5,717	5,869	151	
授業料及び入学金検定料収入	5,445	5,397	△ 47	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	272	471	198	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,951	2,038	87	(注7)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	20	441	421	(注8)
計	18,164	18,845	681	
支出				
業務費	15,245	15,422	177	
教育研究経費	15,245	15,422	177	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	629	672	42	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	307	324	17	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,951	1,611	△ 339	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	30	29	0	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	18,164	18,060	△ 103	
収入－支出	0	784	784	

注：百万円未満の端数については、切捨て表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、年度中に退職手当等の追加配分があったため、決算額が3百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、予算額に比して決算額が43百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたことにより、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたが、補助金等収入の決算額には、授業料等減免費交付金が298百万円含まれており、予算段階で予定していた額よりも得られなかったため、決算額が25百万円少額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で予定していた額よりも補助金を得られなかったため、決算額が1百万円少額となっています。
- (注5) 授業料及び入学金検定料収入については、授業料・入学金免除の実施や適正な定員管理に努めたことにより、予算額に比して決算額が47百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費補助金の間接経費の増などにより、決算額が198百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が87百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、実施時期が未定であった新規事業の実施等により、決算額が421百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、共同利用機器の導入等により、決算額が177百万円多額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、決算額が42百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、補助金の獲得に努めたことにより、決算額が17百万円多額となっています。
- (注12) 事業繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が339百万円少額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、予算額に利息額を計上していますが、決算額には教育研究経費へ計上しているため、予算額と決算額に差異が生じています。